

【代表的な研究テーマ】

□ 日本のベトナム人介護人材(EPA・留学・技能実習・特定技能)

□ ベトナムの高齢化・高齢者ケア(政策・人材養成・コミュニティケア)

キーワード：外国人介護士、ベトナム文化地域研究、アジアの高齢化・高齢者ケア

研究の概要

本研究では、日本の各地で急増したベトナム人介護士(EPA、留学、技能実習、特定技能)の実態に関して10年以上の追跡調査を行うとともに、ベトナム人介護士への支援活動(特に介護福祉士国家試験合格のための試験対策)や受入れ担当者向けの支援・共同調査等をおこなっています。その上では、1990年代からベトナムでフィールドワークを行なってきた地域研究の蓄積が役立っています。また、日本のベトナム人介護士の中には、急速な高齢化が進むベトナムの高齢者ケアの発展へと貢献したいと考えている人も少なくありません。そのような取組に対して研究者として伴走・支援するために、ベトナムの高齢者政策や高齢者ケア人材育成の歴史・制度・実践についての調査研究とその成果の社会への還元にも取り組んでいます。

外国人介護職員同士が経験や悩みを共有する場に。

EPA(経済連携協定)を利用している場合は、母国で一緒に研修を受けて仲間意識を持つことができたり、日本に来てからも定期的集まる機会があったりして、同国出身者同士で交流があります。しかし、技能実習生などの場合は、同じ地域にいたとしても自分の職場以外の人のことを知らないケースが多いようです。このような研修交流会は、彼・彼女たちが知り合いを増やす良い機会だと思います。つながりができれば、先に日本に来ている人が後から来た人に、自分の経験を共有することで、介護の仕事や母国との文化の違いに一人で悩み苦しんでしまう事態を防げるはずです。



社会福祉しずおか「むすぶつなぐ」(2021年3月)

社会連携へ向けたアピールポイント

これまでに以下のような連携実績があります。

1. 連携先：NPO、産業界、自治体等  
ベトナム人介護技能実習生受入れ事業者や介護留学生受入れ養成校などの受け入れ担当者へのアドバイス(特に介護福祉士国家試験合格に向けた試験対策)や、ベトナム人介護人材を対象とした研修会の講師など
2. 連携先：産業界  
ベトナムでの介護サービスの事業化を検討している民間企業などへのアドバイス
3. 連携先：厚労省、自治体  
ベトナム人介護人材(EPA・留学・技能実習・特定技能)の実態(課題、ニーズなど)に関する共同調査の実施など

研究成果などの詳細は以下のQRコードからresearch mapをご参考ください。



■ その他の社会連携活動

- ・静岡県社会福祉協議会主催「外国人介護職員研修交流会」講師
- ・厚生労働省老人保健健康増進等事業「介護分野における技能実習制度の実態等に関する調査研究」検討会及びワーキンググループ委員

■ 相談に応じられる関連分野

- ・SDGs8.8「移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。」
- ・SDGs10.7「計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。」



比留間 洋一  
国際連携推進機構  
特任准教授